



伝統構法
に学ぶ

住まい 涼木

その12

最終回

文・荒野一星

遊びをせんとや 生まれけむ

夢木香の建てる家は美しい。特に、その梁組の美しさには、うっとりとしてしまふ。そしてその度に、決まって「梁塵秘抄」中の一節「遊びをせんとや生まれ

けむ、戯れせんとや生まれけむ」が浮かんでくる。直線のない自然木。一つとして同じ形状のものがない、無数の部材。でありながら、見事に調和している梁組。「みんなちがって、みんないい」の喜びの表現。夢木香の「子供たちの悦ぶ家づくり」とは、ズバリ核

心を衝いている。夢木香のスタッフ、匠たち、施主さん、近所の人々…みんなが一体となって家づくりを楽しんでる様は、誤解を恐れずに言えば、子供たち（＝生命の本質）の遊びの世界に生まれて、楽しくなろうはずがない。子供たちはもちろん、大人だって生命の本質に気づいてしまえば、子供とかわらないのだから。「夢の木の香り」とは、五感の嗅覚を超えた「観」の世界。夢木香の家づくりとは、正に「夢の木の香り」を楽しむ、終わりのない旅路なのである。

夢木香人憲章

われわれ夢木香人は 一〇〇年後の未来を見つめ
自然素材を活かし 自然環境との共生に努めます
われわれ夢木香人は 一〇〇年後の未来を見つめ
伝統文化を継承し 次の世代への伝承に努めます
われわれ夢木香人は 一〇〇年後の未来を見つめ
社会活動を推進し 地域社会の発展に努めます、

夢木香は昨年十月にて創業十周年を迎えることができました。これらもとえに皆様方のご支援の賜物と厚く感謝申し上げます。

自然素材の住まいづくりと、一〇〇年後にメンテナンスを出るように、一〇〇年後も凍と建つ住まいづくりと社会に貢献できる会社づくりを目標としてきました。多くの古民家の移築や再生を手がけてきて頂いているなかで感じることは、一〇〇年以上前の人々は電気機器の少ない時代に電気機器を使わないでむしのげる知恵があり、暮らしの工夫があります。それとともに、解体するときには木材や竹は有害な物質をだしません。屋根や壁に使ってある、茅や葦や土も大地にかえります。先人たちは処分するのに多くのエネルギーを必要とするものとはほとんど残していません。大量生産、大量消費の高度成長期を享受してきた私たちは、一〇〇年後の子孫たちに多くの負の遺産を残しています。

夢木香が今後目標としてゆく新しい指標として、十周年を機に「夢木香人憲章」と社員ともども制定しました。夢木香人とは、夢木香の社員、職人さん、取引業者の方々や夢木香を御支援いただいている皆様方、夢木香憲章にご同意いただけるすべての方々に、応援していただけたらありがたいと考えます。

モテモテ佐賀の誌上は今回までですが、また近々どこかの誌上でご縁をいただけたらと思います。御支援いただいた方々に、こころよりお礼申し上げます。今後ともより以上の御指導御鞭撻のほどよろしくお願いたします。

有限会社 夢木香

代表取締役 松尾 進